

別記様式第8号

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

| 事業実施主体名 | 新品種・新技術の内容   | 事業実施初年度 | 成果目標の具体的な内容   | 成果目標の達成状況               |              | 具体的な取組内容   | 地方農政局長等の意見  |
|---------|--|---------|---|-------------------------|--------------|--|---|
|         |  |         |   | 基準年<br>(計画策定時)<br>平成26年 | 目標年<br>平成28年 |  |   |
| 秋田県     | 良食味県オリジナル品種群による秋豆シリーズ化への取組   | 平成26年度  | 産地と実需者のほか試験研究機関等の関係者が連携を強化し、実取引を核として、コンソーシアム候補を形成する。      | 0                       | 1            | <ul style="list-style-type: none"> <li>「えだまめ販売戦略会議」を母体としたコンソーシアム候補を形成。</li> <li>県オリジナル品種の品種特性や栽培技術を取りまとめ、生産者に栽培マニュアルを提供。</li> </ul> <p>【作付面積】 平成26年 639ha → 平成28年 732ha<br/>【出荷数量】 平成26年 1,976 t → 平成28年 2,358 t</p>             | 当該実施主体は、事業の成果目標であるコンソーシアム候補を、「えだまめ販売戦略会議」を母体として形成しており、成果目標を達成した。        |
| 秋田県     | 新品種導入による実需者ニーズをターゲットとした大規模トマト団地の取組                                   | 平成26年度  | 産地と実需者のほか試験研究機関等の関係者が連携を強化し、実取引を核として、コンソーシアム候補を形成する。      | 0                       | 1            | <ul style="list-style-type: none"> <li>「仙北園芸メガ団地プロジェクトチーム」を母体としたコンソーシアム候補を形成。</li> <li>実需者評価に基づく品種を選定し、栽培方法・安定生産技術のマニュアルを作成し、生産者に提供。</li> </ul> <p>【出荷数量】 平成26年 655.5 t → 平成28年 929.2 t<br/>【契約数量】 平成26年 0.9 t → 平成28年 8.9 t</p> | 当該実施主体は、事業の成果目標であるコンソーシアム候補を、「仙北園芸メガ団地プロジェクトチーム」を母体として形成しており、成果目標を達成した。 |
| 山形県     | 山形生まれ山形育ちの高品質な山形牛を産地化するコンソーシアムを形成するため「高受胎率・和牛ガラス化保存胚のダイレクト移植」を活用した取組 | 平成26年度  | 生産者と実需者のほか関係機関・団体との連携を強化し、高品質な「山形牛」の産地化を図るコンソーシアム候補を形成する。 | 0                       | 1            | <ul style="list-style-type: none"> <li>コンソーシアム候補の「山形県酪肉連携ET和牛生産システム推進協議会」を設立。</li> <li>受精卵移植師を対象とした技術向上研修会の開催。</li> <li>受精卵移植マニュアルと哺育・育成マニュアルの作成。</li> <li>「プレミアム和牛ガラス化保存胚」を活用したダイレクト移植の現地実証。</li> </ul>                         | 当該実施主体は、コンソーシアム候補の「山形県酪肉連携ET和牛生産システム推進協議会」を設立しており、成果目標を達成した。            |